校友会長賞を受賞して

小林　学

卒業式後の祝賀会会場で頂いた「校友会長賞」は、校友会先輩諸兄から「よく頑張った。これからももっと頑張れ！」と、祝福され、激励されているようで、私にとっては何よりもうれしい、そして思いもかけないご褒美でした。あらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私は、4年前の、満60歳を迎える平成24年4月に通信教育部経済学部経済学科に入学し、勉学を始めました。

入学の動機は至って単純で、「60過ぎたらリタイアして好きな事をやりたい。」が私のかねてからの計画でしたので、それを実行すべく、そのスタートとして「日本大学で勉強すること」を始めたのです。

入学するにあたって自分に課した目標は、①4年で卒業する。②履修する科目はすべてリポートを合格させる。③スクーリングはメディアスクーリングを優先し必要最低限とし、科目修得試験で単位を取る、の3つでした。

①と③は、自分のやりたいことなので費用を出来るだけ少なくしたいためであり、②は、勉強するからには徹底的にやるためです。結果的には修得単位142単位（スクーリング単位33単位）、4年で卒業というまずまずのものでした。リポートも、スクーリング単位修得のためすべてメディアで履修した2科目以外はすべて提出し、合格させました。

地方に住む私には、東京でのスクーリングは旅費交通費が一番のネックでした。そのため学友との交流は犠牲にしてでも、自宅で学べるメディアスクーリングは非常にありがたいシステムでした。繰り返し学べることも、私の本来の目的に合致するものでした。

それでも、メディアでは履修できないスクーリング単位を取るために東京に出向いて行ったことも、楽しい思い出として残っています。入学したての6月に文理学部の体育館で行った体育実習では、若い先輩や同年代の同級生との交流が出来、学習計画の実施に欠かせない情報を数多く得ることができました。また、真夏の8月に受講した英語のスクーリングも思い出深いものになりました。シャーロック・ホームズを英語で読むなどということは、多分自分一人ではできない事だったと思います。学生食堂での昼食も、いろいろな方のお話が聞けて一人きりでの勉学のなかのオアシスのようなものでした。

私は、福島県いわき市に住んでいますので、70キロほど離れている郡山市にある工学部の学習センターをよく利用させて頂きました。指導員の難波さん入谷さんご両人には、的確な学習面でのアドバイスを頂き助かりました。この紙面をお借りしてお礼いたします。

人間は、一人ひとり価値観も違うし、考え方も違います。生涯現役を望み、それを貫く方も数多くいらっしゃいます。そして私のように、さっさとリタイアして妻に迷惑をかける人間もいます。しかしどうあれ自分自身の人生ですので、子育てがおわり、子供たちも自分の家庭をもって自立した今は、（最愛の妻にだけはあまり迷惑をかけない程度に）好きな事をさせてもらおうと思っています。

4年前、入学願書とともに提出した志望理由書には、「社会人として培って来た不屈のチャレンジ精神で、学位獲得を目標とし勉学に励み…日本大学をこれから始まる私の生涯の学びの『ベースキャンプ』にしたい」と書きました。

この4年間の体験を次の目標の礎として、日本大学の理念である「自主創造」の気風に満ちた人生をこれからも歩んでいきたいと思っています。

入学のご相談は、入学説明会のほか、全国の学習センターや学事相談会でも行っています。開催日時や会場については、ホームページをご参照ください。

通信教育部では、昼間スクーリングをメインとした高校生向け資料も用意しております。高校に勤務されている先生方、また高校の先生をご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、通信教育部入学課までご連絡ください。資料を送付いたします。

■教務課

『3月卒業』

平成27年度3月卒業式が、3月25日（金）に日本武道館で行われ、通信教育部からは354名の学生が卒業しました。

卒業式終了後、通信教育部校舎での学位記伝達式に引続き、ホテルメトロポリタンエドモントで卒業祝賀会が行われました。

卒業祝賀会は、白戸忠志通信教育部校友会会長から祝辞をいただいた後、樽酒で鏡開きが行われ、盛会のうちに終了しました。

『在学生数』

5月1日現在での在学生数は、6,539名です。

・学修支援センター

平成28年4月1日から在学生の学修をさらに強化するため、1号館1階の入学課前に「学修支援センター」を設置し、学生個々の履修相談、問い合わせに対する回答、ポータルサイトの利用方法、各種手続案内など日常的に学修をサポートする専門窓口を開設しました。毎日多くの学生が訪れて、相談を受けております。

■研究事務課

『研究紀要』の発行

平成28年3月、通信教育研究所から『研究紀要』第29号（日本大学理事長特別研究特集）が発行されました。

日本大学理事長特別研究

平成27年度に日本大学理事長特別研究が採択されました。研究代表者は近藤健史教授。研究課題は「自主創造型パーソン」の育成を目標とした全学共通教育における効果的なアクティブ・ラーニング開発に関する研究－学部横断型教育の実現と中途退学者防止策を含む学修支援体制の構築について－近藤健史教授、古賀徹教授ほか商学部教授及び薬学部教授をグループリーダーとして4つのグループを構成し、平成27年度から3年間研究課題に取り組みます。

■教職員人事

異動（転出）（28・3・11）事務局長　髙橋浩参事（本部広報部へ）

異動（転入）（28・3・11）事務局長　瀬口邦夫参事（経済学部から）

異動（転入）（28・3・25）研究事務課長　羽村弘之参事（本部広報部へ）

異動（転入）（28・3・25）研究事務課長　清野正昭参事（工学部から）

解任（28・3・31）通信教育部長　福田　弥夫

任命（28・4・1）通信教育部長　関根　二三夫

異動（転属）（28・4・1）雨宮史卓教授（短大・ビジネス教養学科から）

新規採用（28・4・1）山上友輔見習職員（教務課）

通信教育部事務局より

■入学課

『入学生募集！』

平成28年度後期生（10月入学）を募集します。募集期間は、7月11日（月）～10月31日（月）です。

通信教育部では、より良い学習環境の整備に力を入れており、平成28年度は550講座を超えるスクーリング、メディア授業は76講座を開講しています。ホームページは、より早く新着情報を更新するなどの有効利用に努め、在学生専用ポータルサイトから科目修得試験・スクーリングの申込や各自の履修・リポート提出・成績の状況が確認でき、その便利さを感じられた方も多くいらっしゃると思います。

皆さんのお知り合いの中に、働きながら学べる大学を探している方、資格取得や生涯学習として学びたいと考えている方がいらっしゃいましたら、是非、皆さんの経験した日本大学のスケールメリットや通信教育部の魅力を伝えていただき、本学への入学を勧めていただきたくお願い申し上げます。

通信教育部校友会より

《「会報90号」原稿依頼》

平成29年1月1日、発行の原稿について。各支部、ブロックの行事予定及び活動報告、春秋の叙勲・褒章の受賞者、支部活動の貢献者等の校友紹介、本部及び事務局に対する提案、エッセイ、旅行記その他何でも結構です。11月10日までに校友会事務局あてお送り下さい。

なお、原稿は次の事項に留意してご提出願います。

(1)校友会指定の原稿用紙を使用するか、ワープロの場合は縦書き「11文字」とする。

(2)数字及びアルファベットは1マスに2つ書き入れる。

×平成二八年

○平成28年

(3)時間は24時間。

(4)曜日は1マス。（日）

(5)校友紹介の原稿には顔写真を添付願います。

注　ご寄稿の原稿には、忠実に会報に記載するよう心掛けておりますが、会報の公共性、紙面構成（割付）の都合等により原稿の趣旨への影響を考慮しながら訂正する場合がありますので、予めご了承下さい。

《ブロック・支部総会報告》

報告書は次の事項に従いご提出下さい。ご提出下さいましたブロック及び支部には助成金を支給します。

提出資料は、

(1)開催報告書

前項の条件を遵守し、600字程度にまとめて下さい。

(2)集合写真1枚（手札判・印画紙プリントのみ）

(3)助成金振込用紙

注　ブロック助成金　3万円

支部助成金　2万円

《会報発送補助費について》

通信教育部校友会報を支部の方々に発送した際は、左記の書類を揃えて、校友会事務局に申請して下さい。1部80円の補助費が支給されます。

①会報発送補助費申請書

②発送代金の領収書のコピー

③支部の郵便振込用紙

《事務局よりお知らせ》

《住所変更についてのお願い》

校友会報の発送、総会の案内状発送等に必要ですので、引越等で住所が変更になった場合は、なるべく早く校友会事務局までご連絡下さい。

尚、校友会事務局は毎週月・火・木・金曜日（祝祭日は除く）10時から18時の間。上京の節は、是非お立ち寄り下さい。

8月22日（月）より29日（月）までは夏季休暇です。

《会報掲載原稿は左記へ》

〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28

日本大学通信教育部内

日本大学通信教育部校友会宛

TEL・FAX 03-3234-5858

日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・総務部長
日本大学校友会埼玉県支部　常任幹事
脇岡　堅一
〒344-0064　埼玉県春日部市南二-四-一六
電話　〇四八-七三八-七一三〇

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長　財務部長
日本大学千葉桜友会　顧問
山本　良吉
〒290-0011　千葉県市原市能満一三〇六-三
勤務先　市原田園ホーム(有)
TEL　〇四三六-二五-一三三一
FAX　〇四三六-二四-二五五一

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・広報部長
師田　袈裟茂
〒225-0005　横浜市青葉区荏子田二-六-二
TEL　〇四五-九〇三-一八二二
FAX　〇四五-九〇三-一八二二

日本大学通信教育部校友会　副会長・組織部長
日本大学通信教育部校友会　埼玉県支部長
鎌子　健
事務局〒102-8005　東京都千代田区九段南四-八-二十八　日本大学通信教育部内　TEL〇三-三二三四-五八五八　FAX〇三-三二三四-五八五八
自宅〒340-0156　埼玉県幸手市南二-十九-二十七　TEL〇四八〇-四三-〇九四六　携帯〇九〇-四一二一-六三五〇
E-mail:kamaken@dune.ocn.ne.jp

日本大学通信教育部校友会　副会長
取締役会長
吉村　益吉
特急はんや有限会社
本店〒750-0006　下関市南部町二六の一六　電話　〇八三-二二三一-八八一七　電話　〇八三-二二二一-二二七〇　FAX　〇八三-二二二三-六六〇〇

日本大学通信教育部校友会　副会長
日本大学通信教育部校友会　関東ブロック長
日本大学通信教育部校友会　東京都支部長
金子栄輔
〒179-0074　東京都練馬区春日町三-十九-一一
電話　〇八〇-五〇三一-一四六七